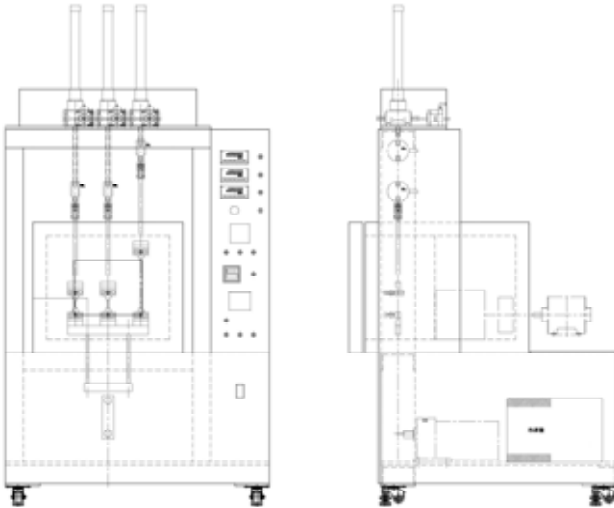


## No.526 定荷重伸張疲労試験機

Constant Tensile Load Flexing Tester

本機は、一定荷重下での繰り返し伸張を行った時のプラスチック・ゴム材料の伸び疲労を測定する試験機です。装置は3組の荷重負荷装置と1式の繰り返し伸張装置、及び低温恒温槽で構成されています。荷重負荷装置は、各測定架台毎にロードセル及びサーボモーターを具備し、ロードセルで検出された引っ張り張力の最大値を連続的に採取し、その増減によってサーボモーターを適切に制御して一定の最大荷重を保った長時間試験を行います。又、試験片の伸びはサーボモーターの回転パルスから直接検出してデジタル処理しておりますので、誤差のない高分解能なデータとしてパソコン処理出来ます。繰り返し伸張装置は、3連同時駆動部に強固な2本シャフト式枠組みフレーム、及び機械クランク方式を採用しており、ストローク変動の無いメンテナンス性の高い機構となっております。低温恒温槽はシロッコファン強制循環方式で、良好な温度安定、分布が得られます。



### 仕様

掛数	3ヶ掛(又は6ヶ掛)
荷重検出	Max 2 kN ロードセル ピーク値検出
荷重保持	任意設定、サーボモーター制御方式 偏差値による動作量可変 ストローク: Max 150 mm
繰り返し疲労	機械クランク式 同時駆動 10 ~ 180 cpm 可変式 ストローク: 0 ~ 10 mm可変式 8桁プリセットカウンター
恒温槽	温度範囲: -40 ~ +80 強制循環槽、デジタル温度調節計 フィンヒーター、空冷式冷凍機
データ処理	Windows X P対応 画面表示「時間 - 変位 - 荷重グラフ」
機体寸法	約965(W) × 980(D) × 1825(H)mm
重量	約400 kg
電源	AC 200V 3相 30A

注1. 機体寸法、重量は3ヶ掛の場合です。  
注2. データ処理部にAC 100Vが必要です。

## No.527 定伸張疲労試験機

Constant Tensile Deformation Flexing Tester

No.527 デマツチャ屈曲き裂試験 JIS K6260準拠

本機は、一定ストロークでの繰り返し伸張を行った時のプラスチック・ゴム材料の伸び疲労を測定する試験機です。長時間を要する試験に対応し、最大20連の試験を同時に行ない事が出来ます。また、各試験片部にセンサーを取り付け、個々の破断を検出して回数又は時間表示させる事が出来ます。(オプション)



### 仕様

掛数	20ヶ掛(又は6ヶ掛、10ヶ掛)
屈曲ストローク	0 ~ 100 mm 可変式
屈曲速度	Max 300 cpm 可変速、又は一定速
カウンター	8桁プリセットカウンター
恒温槽	温度範囲: -40 ~ +150 ヒーター: 1.5 kW 冷凍機: 空冷式、1.5 kW デジタル温度調節計 PID制御 シロッコファン強制循環式
安全装置	安全センサー(槽扉及びクランク部扉) 過熱防止器2回路 冷凍機: 自動ガス回収装置、圧力スイッチ 漏電タイプ電源ブレーカー
機体寸法	約1300(W) × 1000(D) × 1600(H)mm
重量	約450 kg
電源	AC 200V 3相 30A

注1. 掛数によって仕様が異なる場合があります。

### 破断検出装置(オプション)

検出器	光ファイバーセンサー × 試料掛数
カウンター	8桁ランニングカウンター × 試料掛数 (又はアワーメーター)

特殊型も設計・製作しますので、お問い合わせ下さい。